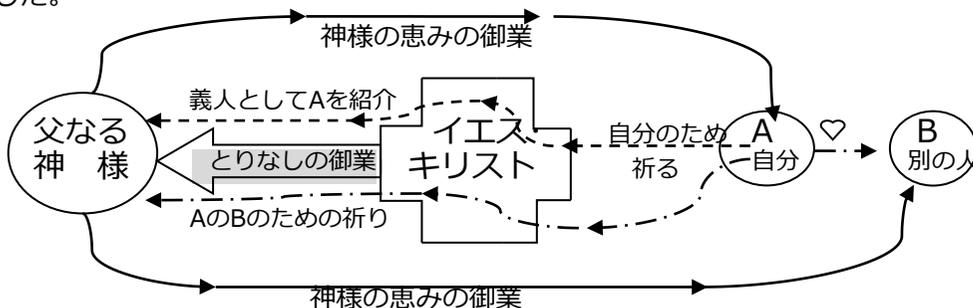


とりなし と とりなしの祈り

「十字架のとりなしの御業」を完成し、召天された主イエス様は、父なる神様の右の座に着いて、ただ座っておられるだけではありません。天上で父なる神様に、イエス・キリストを信じて生きている私たち一人一人を個人的に義人として紹介して、繋いで下さり、代理人・仲介者の働き、弁護の働きをして下さっているのです。

私たちが誰かのために「とりなしの祈り」をします。それは、イエス様に私たちがその人を紹介することであり、その人の代理としてイエス・キリストの御名により、また仲介により祈り、父なる神に聞いて頂くことが出来るのです。それは「主イエス・キリストのとりなしの御業」を広げていくことになるのです。

2022年1月のある日、柏原教会に一人の男性から「教会で私の葬儀をして頂けるでしょうか？」と電話がありました。彼は長く聖書を読んでいましたが、教会には行ったことがなく、癌で後半年の余命宣告を受けていたのです。次の週から礼拝に来るようになった彼のために、教会では牧師を中心にとりなしの祈りが始まりました。私たちはイエス様に彼を紹介しました。天上では主イエス様が私たちの祈りを仲介して下さいました。ご聖霊は彼の心に罪を認めさせ、信仰を与えられました。彼はイエス様を自分の救い主として受け入れ、病床洗礼を受けた後、家族に伝道し、家族のために祈り、3週間を待たず天に凱旋して行きました。



聖書の学び

I、私たちのとりなしの祈り

1、私たちの「とりなしの祈り」がイエス様の「とりなしの御業」を広げるとはどのような意味でしょうか？

①私たちのとりなしの祈り = 作り出す事ではなく、分配することです。

- ・ 5つのパンと2匹の魚を配った弟子… 神様の恵みを人々に渡す働き (マタイ14:17~19)
- ・ 主は私たちをとおして、神の恵みの御業を行いたいと願っておられる

②現実の私たちの体験を通しての祈りは、父なる神様への主イエス様の代理の働きを、現実の世界に実現することです。(ヨハネ14:6)

2、主イエス様は代理をする人を必要とされています。

①神様と人との間での和解のために、仲介の祈りをする人が必要です。

- ・ご聖霊が働かれるように祈る。
- ・神様が物凄く私たちを愛しておられることが分かるように祈る。
- ・信仰が与えられ、主イエス様の恵みが自分に与えられていると分かるように祈る。

②罪から解放のために、悪魔と人との間で、悪魔と手を切らせ、主の十字架の勝利のための祈りをする人が必要です。

- ・人が罪を悔い改めるように祈る
(悪魔は罪を認めさせないように人の目をくらましている)
- ・悪癖を止めるように祈る
(悪魔は悪癖が楽しく有益のように人に思い込ませる)
- ・病気の癒し、悪霊からの解放を祈る
(聖書には罪から来る病気、悪霊による精神病が示されている)
- ・自分で握っているものを手放し、主にゆだね、お献げする事が出来るように祈る
(悪魔は神様の愛を疑わせ、自分の思い通りはならないと、人に思い込ませる)

主イエス様が十字架でして下さった御業が実現するための祈り

II、神様の権威を頂くとりなしの祈り

1、主イエス様は、父なる神様からの代理のために権威を頂き、遣わされました。(マタイ28:18)

2、私たちも、主イエス様からの代理のために権威を頂き、遣わされているのです。(マタイ28:20)

※イエス様の声として祈り、イエス様の手の変わりとして愛の業をする。
イエス様の足となり福音を伝える、実際イエス様がそこにおられたらされることを私たちはすることが出来るのです。